

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時：２０２６年（令和８年）８月７日（金）１０：００～１１：１０

場 所：福山市役所本庁舎 ３階 小会議室

出席団体

福山商工会議所、福山北商工会、福山あしな商工会、神辺町商工会、沼隈内海商工会、
一般財団法人備後地域地場産業振興センター、株式会社商工組合中央金庫福山支店、
福山公共職業安定所、広島県立総合技術研究所東部工業技術センター、
広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当、
福山市経済環境局経済部産業振興課
(オブザーバー)
経済産業省中国経済産業局産業部産業振興課

議事内容

■中東情勢に伴う状況について

(国の取組状況)

- ・ 原油の調達、４月以降、段階的に回復しており、前年並みの水準まで確保できる見込みとなっている。こうした状況を踏まえ、国家備蓄の追加放出は行わず、引き続き代替調達等により必要量の確保を進めている。
- ・ ガソリン価格については、燃料価格の激変緩和措置により、小売価格を１７０円程度の水準に抑制している。
- ・ 石油化学製品についても調達状況は改善しており、潤滑油や塗料・シンナー等について、直接販売スキーム等を活用し、流通の目詰まりの解消に向けた取組を進めている。
- ・ 足元では、供給不足そのものよりも流通の偏りや価格転嫁が課題となっている。

(県の取組状況)

- ・ 中東情勢の影響を受ける中小企業に対し、県制度融資に中東情勢対応の要件を設け、金融支援を実施している。
- ・ エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業を支援するため、「中小企業省エネ設備等導入支援補助金」の予算を増額している。

(市内企業の状況)

- ・ 一部に品薄や納期の長期化などの流通の目詰まりが残るものの、原材料・資材等の調達状況は、５月・６月頃をピークに改善傾向にある。

- ・ 一方、原材料・資材費や燃料費等の上昇が続いており、その上昇分を販売価格や運賃等に十分反映できていない事業者が見られる。特に小規模事業者では、価格転嫁の難しさが大きな課題となっている。
- ・ 受注や売上、配送等への影響は一部で見られるものの、限定的である。
- ・ 雇用面では人員整理等の大きな動きは見られていない。

■今後の対応

- ・ 各機関は、相談や訪問、面談等の機会を通じて、引き続き市内企業の状況を把握する。前回からの変化や新たな影響を確認するとともに、可能な範囲で同一企業の状況を継続的に確認する。
- ・ 各機関は、8月末時点で把握している状況を市へ報告し、市はその内容を取りまとめ、各機関と共有する。
- ・ 9月の「価格交渉促進月間」を見据え、国・県等の取組や価格転嫁に関する支援制度、相談窓口等について、各機関が連携して事業者へ周知する。
- ・ 次回会議は10月上旬を目途に開催を調整する。ただし、状況に大きな変化が生じた場合は、必要に応じて臨時に会議を開催する。